

「馬場小室山遺跡フォーラム」第 83 回ワークショップ

【 原動力！パブリック・アーケオロジー2017 】

馬場小室山遺跡のパブリック・アーケオロジーからみえてきた現代社会との「かかわり」と未来への新たな挑戦

＜馬場小室山遺跡研究の新展開—縄文塚(「環提土塚」集落)の遠隔生業往還と広域流通社会からの大転換とは?—＞

馬場小室山遺跡研究の新展開では限界(知識・経験・思考・領域等)からの知的解放を目指します！

新展開1	「ムロさま」の 「限界領域」打破 (墓場の公共性にみ る墓式と葬式の真 相)	馬場小室山遺跡「第 51 号土壙」から展望する縄文時代の葬墓式と「土器社会論」—「ムロさま」の「累積型改新土壙」と「積葬墓」から探る「追葬型集積土器棺墓」への途— (ムロ1) 寺野東遺跡の「積葬墓」(「SX036埋設土器遺構」)に注目 (ムロ2) 青森県の「再葬壺棺墓」/列島晩期の再葬動向/「金田一型土器棺墓」/ 土井ヶ浜遺跡の「弥生再葬墓」 (ムロ3) 福島県鳥内遺跡の晩期終末の「追葬型集積土器棺墓」と弥生時代前期の 合口土器棺による「積葬墓」の土器社会論 (ムロ4) 鳥内遺跡の弥生時代前期から中期初頭の「追葬型集積土器棺墓」に観る北方砂沢式 系文化から「御代田式」へ、そして中部条痕文系土器による交替劇の様相 (ムロ5) 中部から北関東西部における前期の再葬壺棺墓から中期初頭の木棺墓への 移行を「阿武隈文化」と比較し、東関東や南奥と関係の深い前期の再葬壺 棺墓として田川流域の栃木県芝工業団地内遺跡の様相を把握する。 (ムロ6)「焼葬」(秋田県藤株遺跡の頭蓋骨無し)、「焼人骨集積」(岩手県萩内遺跡)、「人骨 集積」(愛知県保美貝塚)と抜歯、そして「髑髏信仰」(長野県宮遺跡の「積葬 墓」) (ムロ7予告)「人骨集積」から「土器棺集積」へ
新展開2	「オムちゃん」から 「ムロさま」への 「限界知識」打破	土偶から土面/顔面付土版/人面文土器等の関係、そして容器形土偶/顔壺へ (オム1) 泉坂下人面イデオロギーの拡散ネットワーク (オム2)「人面文インダストリー論」による「亀ヶ岡型変相イデオロギー」の出現 (オム3予告)「髑髏信仰」と「亀ヶ岡型変相イデオロギー」、そして「ムロさま」 (オム4予告)「髑髏信仰」は「ムロさま」から容器形土偶や顔壺の土坑墓へ
新展開3	「シオ(塩)もん」の 「限界経験」打破	「製塩土器」の確立から製塩遺跡の操業へ、爆発的普及の晩期社会と「定住制」の定着 (シオ1) 定住制社会から生業往還としての製塩遺跡へアプローチ (シオ2) アマモやヨシ(アシ)の「草木灰」は濃縮工程での使用か? (シオ3) 製塩遺跡の操業タイプ(短期型と長期型)と燃料問題 (シオ4) 下布田遺跡の「製塩土器」在地性は古鬼怒湾型変遷との乖離現象にあり! 枯れたアマモを特定の場所に集めて乾燥させる「塩草場」の存在、及び <u>天日</u> <u>と地熱(熱砂)利用の採鹹工程</u> に相応しい「製塩土器」鉢形態の確立 (シオ5) 宇都宮市刈沼遺跡からは寺野東遺跡よりも多数の「製塩土器」が検出。鬼怒 川流域の口縁部形態は下布田遺跡とは大きく異なり、古鬼怒湾型変遷の1 系列である口縁部水平ヘラカットが定着 (シオ6) 三陸北部における「製塩土器」の年代と系統(1) 久慈市大芦 I 遺跡の長胴 深鉢形態と僅かな出土点数に注目
新展開4	「タマきみ(君)」の 「限界思考」打破	ヒスイ製勾玉・小玉の晩期流通(関東各地域拠点でも製作)と弥生時代中期中葉「再葬壺 棺墓」への流通実態(上越周辺北信経由)解明 (タマ1) 熊谷市飯塚南遺跡の土坑墓出土ヒスイ製勾玉と飯塚遺跡群 (タマ2予告) 長野県坂城町保地遺跡の抜歯人骨とヒスイ製垂飾品の年代

1. 【「みぬま秋フェス 2017 in さぎ山」で弥生時代喜劇を鑑賞！】： 於：さぎ山記念公園

・埼玉大学有機農業研究会が「見沼卑弥呼」を見事に描き出せるか？

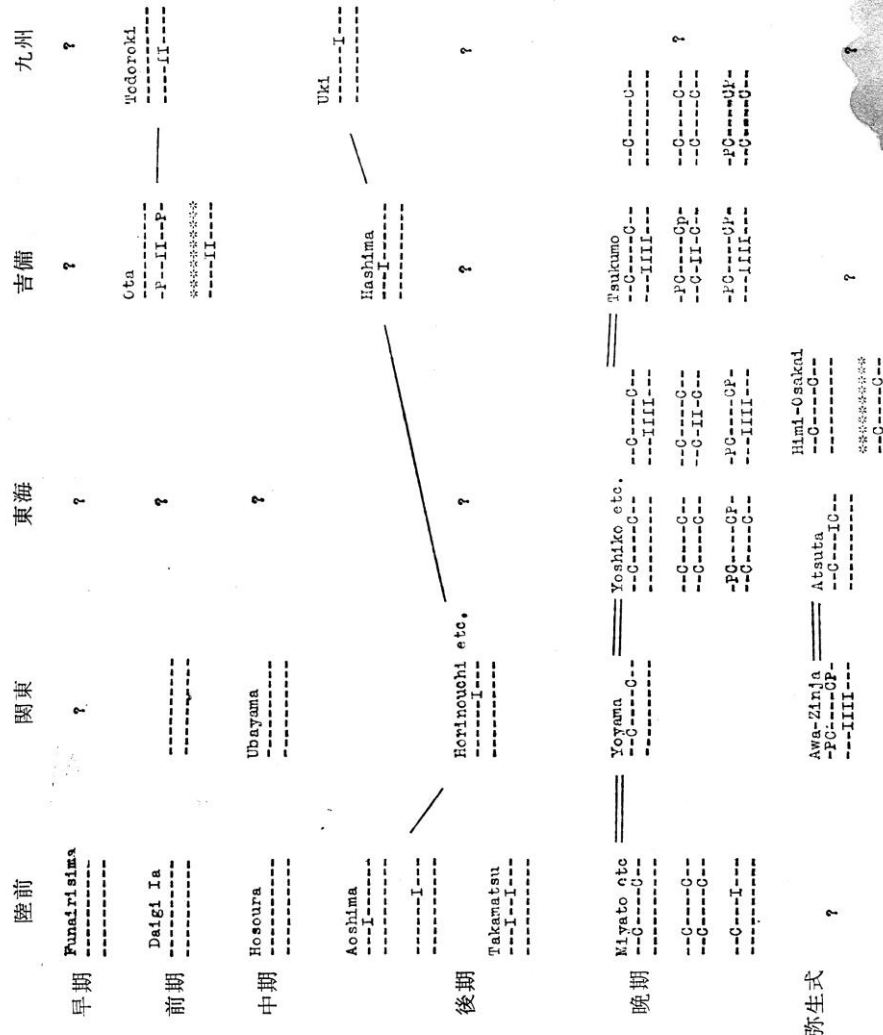
インターンシップとして見沼田圃政策推進室で研修している8人の学生が弥生時代を学び、喜劇や紙芝居に挑戦していますので、乞うご期待！

2. 【「ムロさま」の頃の葬式各種】： 人骨から見た縄文晩期の葬式(除く一次葬としての屈葬・伸展葬)

2-1. 「人骨集積」と抜歯： 抜歯の教科書は山内清男(昭和12年)「日本先史時代に於ける抜歯風習の系統」

240

日本先史時代に於ける抜歯風習の系統



この表は抜歯の有無及様式を記号で示し、その年代的関係を暗示したものである。二列の線のうち上は上顎、下は下顎の歯列(大臼歯を除く)を示す。—は抜歯なきもの、Cは犬歯、Iは門歯、Pは小臼歯の抜去を意味する。==は抜歯の盛期、——は僅かながら抜歯の認められる時期で、地方間の連絡を推定し得るものである。?は当該地方年代に於ける抜歯の有無不明なるを示す(本文参照)。

★山内清男の方法は歯式記号による抜歯のデータ化と年代別地域別様式化による系統論に特徴あり！
今日的なデータの蓄積を山内清男の方法で見直すことが喫緊の課題！

表9 縄文時代における抜歯型式の変遷(切歯・犬歯抜去に限定)

	西	日	本	東	日	本
前期						
中期						
中期末						
後期中葉						
後期後半						
晩期						

表10 広島県寄倉遺跡の抜歯例数(鈴木尚・福島靖夫1976年)

抜歯		男性		女性	
		右	左	右	左
犬歯+第一小臼歯	上	5	4	4	4
	下	2	2	4	4
犬歯	上	2	2	2	3
	下	3	3	3	2
なし	上	1	1	0	0
	下	3	3	0	0

(1) 愛知県伊川津貝塚の「人骨集積」と抜歯

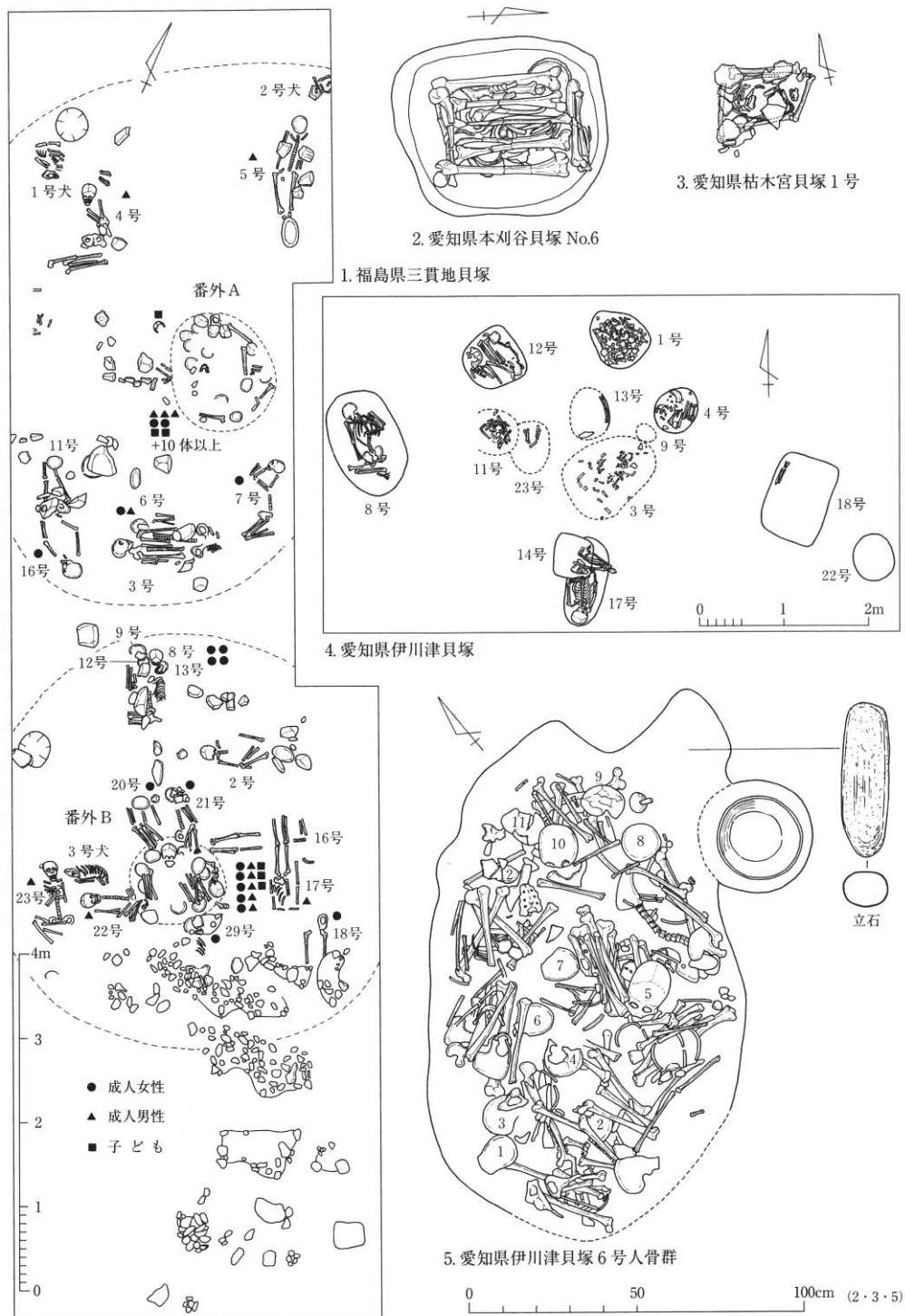
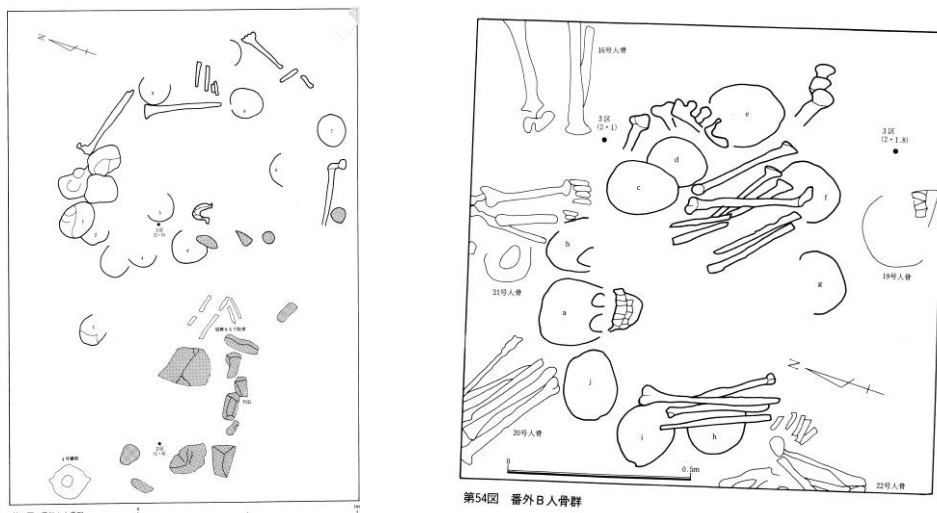
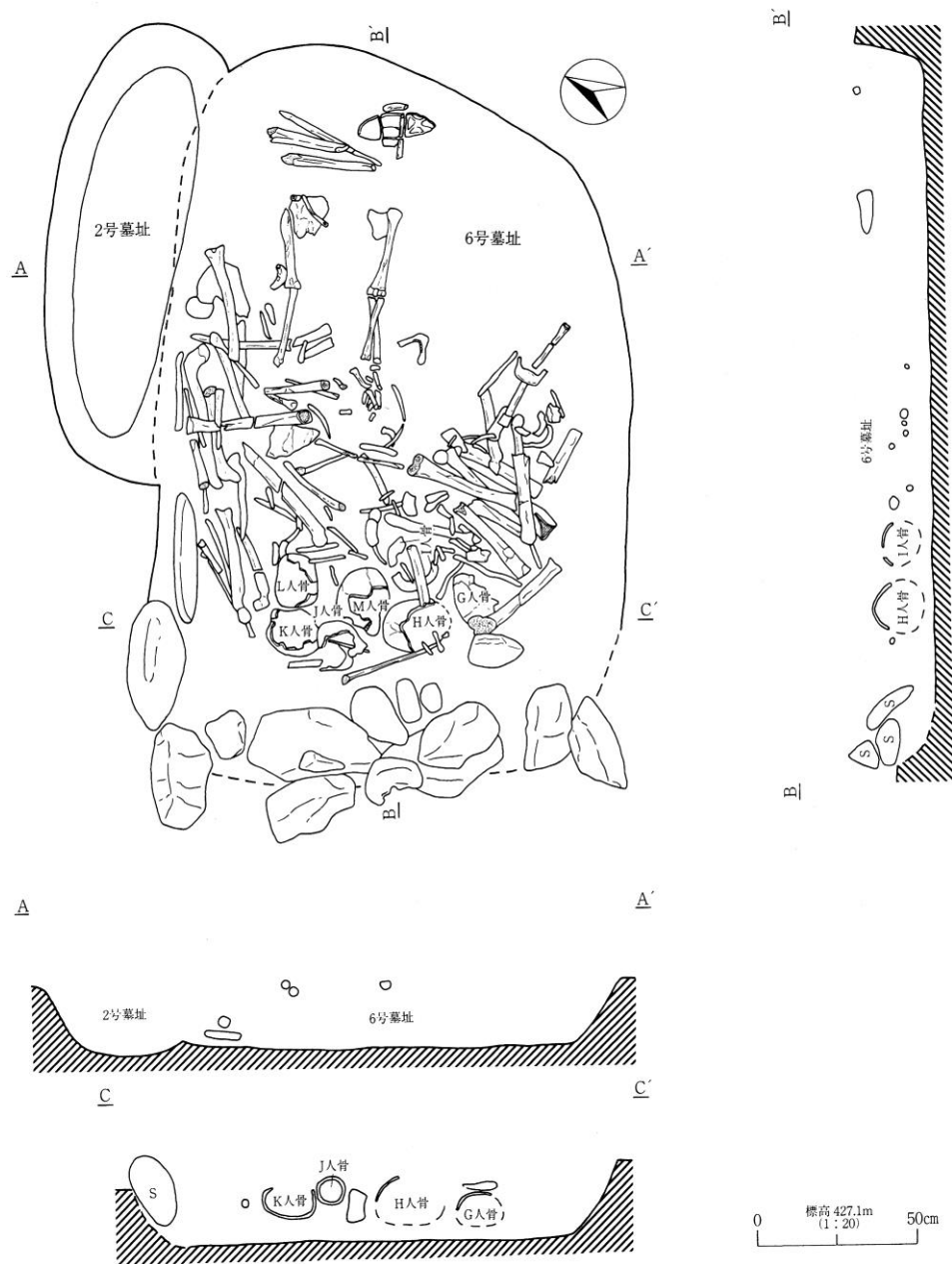


図 68 縄文時代の各種の集骨墓

(2) 福島県三貫地貝塚の「番外A」と「番外B」から探る「髑髏信仰」と抜歯



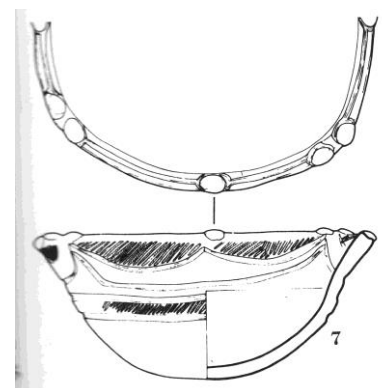
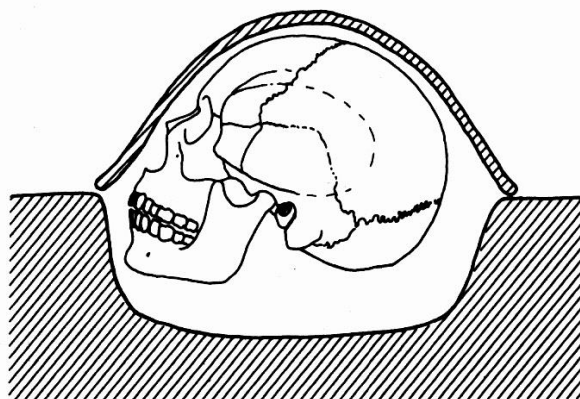
(3)長野県保地遺蹟の「積葬墓」と抜歯、そして「髑髏信仰」への傾斜



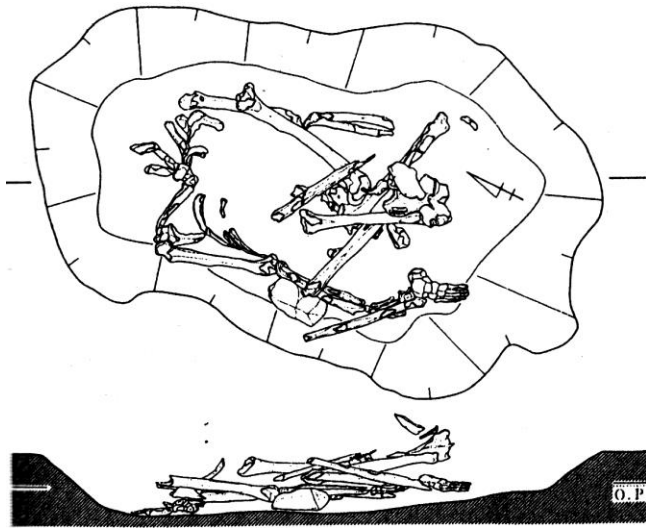
第8図 試掘1号トレンチ2号墓址掘り方及び6号墓址人骨実測図①

4-2. 「髑髏信仰」の変遷 : 「人骨集積」に親られる「髑髏信仰」から個別の「髑髏信仰」へ変遷と広域展開

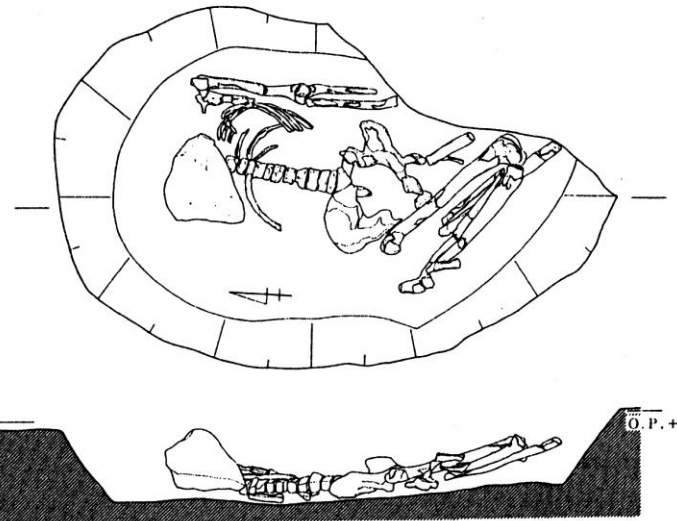
(1)千葉県西広貝塚の「髑髏信仰」 : 頭蓋骨だけの再葬壺被り



(2)大阪府日下貝塚の「髑髏信仰」：頭蓋骨が無い！ 26土坑では頭蓋骨の代わりに石が！



19



26

3.【「シオ(塩)もん」の話題】： 栃木県宇都宮市刈沼遺跡の「製塩土器」が正式に報告されました！

・江原英(2017)『栃木県埋蔵文化財報告第388集 刈沼遺跡・刈沼向原遺跡—宇都宮テクノポリスセンター地区開発に伴う埋蔵文化財発掘調査—』、栃木県教育委員会・公益財団法人とちぎ未来づくり財団

・地理的勾配に従い、古鬼怒湾沿岸貝塚の1割以下の出土量です。報告書には102点の口縁部破片が掲載されています。破片が小さいため、出土状態から個々の「製塩土器」の年代は追求できません。

・口縁部形態では古鬼怒湾の「製塩土器」と共通した作法、特に口唇に粘土屑を残したものや、内傾カットや外傾カット、そして水平カットが目立つようです。大宮台地や武蔵野台地に顕著な輪積み痕を残すナデ作法は見当たらないようです。

4.【今後の学習テーマについての検討】： 自由な意見交換

(1)馬場小室山遺跡第32次発掘調査地点の墓場と出土資料

・第32次調査資料を活用し、パブリック・アーケオロジによる地域社会への貢献

(2)山田町川半貝塚の高台移転地点の縄文集落形成の意義

・次回の交流会で山田史談会などにプレゼン予定

5.【その他情報交換など】： 自由な意見交換とワイン・アーケオロジ

5-1. 今後の予定

・11/4(土) 『大田堯自撰集成 補巻』刊行イベント(AM)及び「最後のお別れの場」(PM)

★埼玉大学全学講義棟1号館 3階301号・304号室にて「見沼フィールド・スタディーズ特別公開講座」

第1部:10:00～12:30 「かすかな光へ」上映会、午後は山根甚世トーク等(3階301号室)

第2部:13:30～15:15 展示ブースにて市民団体の交流会(3階304号室！)

(飯塚一恵さん・井山紘文さん・五十嵐聡江さんによる馬場小室山遺跡に学ぶ市民フォーラム展示)

・11/18(土) 浦和西高開放講座(「浦和西高斜面林友の会」の方々に馬場小室山遺跡を紹介します)

10:00～浦和博物館→馬場小室山遺跡見学 13:30～「見沼の先史遺跡」 於:浦和西高視聴覚室

・11/19(日)夜 飯塚邦明ジャズピアノ・コンサート(於:浦和文化センター 集合時間・場所の検討)

5-2. その他

以上